施工・使用上のご注意

エバーバンブー ／ エバーアートウッド ／ エバースクリーン ／ プロラフィード

施工上のご注意

警告

- ●風の強い場所、積雪の多い地域や地盤の弱い場所での施工には、控え柱等の補強が必要です。特に柱の固定を確実に行ってください。転倒など事故の原因となります。
- ●屋上やがけの上など、商品が落下した場合にケガをする可能性のある高所には設置しないでください。
- ●お子様が踏み台として使用し、転落事故につながる場所への設置は絶対にしないでください。
- ●取扱説明書に表示している基礎部の埋め込み深さは一般的な場合です。現場の地盤状態に合った基礎部の寸法（体積）にて施工し、安全を確保してください。
- ●施工時、コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）や、コンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）で塩素系や強アルカリ系のものは、絶対使用しないでください。使用すると、金属部分が腐食し、破損、倒壊の可能性があり危険です。

ご注意

- ●壁、ブロック塀、ベランダ等に取り付ける場合、当該構造物（建物）の強度については、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ●大型商品は、安全に組み立てるため、施工は2人以上で行ってください。
- ●変形の恐れがあるので、平らな場所に保管してください。
- ●寒冷地でご使用になる場合は、柱に水抜き穴をあけて、柱用の穴に柱を立ててから、モルタルを入れてください。モルタルを入れてから柱を立てると、柱の内部に水がたまり、凍結破損の原因になることがあります。
- ●支柱の水抜き穴は、モルタルなどで塞がないでください。
- ●商品の一点をハンマーで叩いたり、ハシゴをかけるなどして強い衝撃を与えますと破損事故の原因になりますので、絶対しないでください。
- ●アルミ製品は、鉄や銅など（ステンレス以外）の異種金属と直接接触すると、腐食する可能性があります。接触する場合は、ビニールテープを巻くか塗料を塗るなどの処理を行ってください。
- ●商品を異なる材質のものに固定すると温度差により多少伸縮する場合がありますので、施工の際、商品に必ず大きめの穴をあけて固定してください。
- ●腐食成分（塩素イオンなど）を多く含んでいる輸入木材の併用は避けてください。もし使用される場合は、必ずアルミと接触する部分の木材に塗装するなどの処理を行ってください。
- ●土地の高低にかかわらず、柱の埋め込み深さを十分確保しないと危険です。
- ●安全を確保するため、組み立て、施工は必ず専門の業者が行ってください。
- ●組み立て、施工は正しく行わないと危険です。組み立て、施工前に必ず取扱説明書をお読みください。
- ●商品を正しく施工するためには、必ず取扱説明書に従ってください。
- ●梱包明細表で必要な部材、部品がすべて揃っているか確かめてから、組み立ててください。
- ●誤った使用を避けるため、組み立て、施工終了後、必ず取扱説明書は施主様にお渡しして、取り扱いの注意、メンテナンスについて説明してください。
- ●給排水管などの地下埋設物に影響を与えないか位置を確認してから施工してください。
- ●高台、強風地域、特にがけの上、屋上、風の通り道などへの施工は避けてください。
- ●防犯上、不審者が踏み台として使用し、侵入が容易になるような場所への設置はしないでください。
- ●給湯、暖房機などの排気熱が直接商品に当たると被膜の劣化、はく離につながりますので、熱の影響のない場所か確認してください。
- ●給湯、暖房機などの熱排気が商品で妨げられ建物内部にこもったり、適切な換気ができなくなるような場所に設置しないでください。
- ●設置場所に正しく施工でき、不具合なく使用することができることを確認してください。
- ●通路など、通行の妨げになる場所へは施工しないでください。
- ●構造物、建築物の屋根などからの雪の落下を受けない位置に設置してください。
- ●積雪地域に施工されるときには、雪により商品が倒壊しても危険がない場所に施工してください。
- ●振動、衝撃のある場所へは、施工しないでください。商品の破損、倒壊につながります。
- ●大気中に強い酸やアルカリ成分が多く含まれる場所では、商品の性能が低下する可能性があります。
- ●水はけの悪いと思われる場所への設置はおやめください。
- ●常に水や温水に触れたり水没する場所、また温泉やそれに類する水質に触れたり水没したりする場所への設置はしないでください。
- ●風の強い場所では、商品の周囲に十分な空間を確保してください。周囲を囲うと商品に予想以上の風圧がかかり、破損、倒壊の可能性があります。

ご注意

- ●組み立て、施工場所の整理整頓、適切な安全確保を行ってください。高所作業での転落、工具、部品の落下や倒壊の防止、暗所作業時の照度の確保などを必ず行ってください。
- ●適切な作業服および保護具（保護帽、安全靴、安全帯、その他作業者身体の保護具）を正しく使用してください。
- ●工具、器具、保護具などの安全機能を十分確認し不具合のあるものは使用しないでください。
- ●必ず取扱説明書に従って、施工してください。正しい順序で施工されなかった場合には、商品の強度など性能が低下するほか、倒壊につながる場合があります。
- ●組み立て、施工用のボルト、ビスは規定本数（当社指定純正品）を確実に締め付け、固定してください。
- ●商品が、腐食する可能性のある接着剤や溶剤などの化学薬品に、接することがないように注意してください。
- ●商品の改造は絶対にしないでください。商品の性能が落ち、強度不足による破損、倒壊の可能性があり危険です。
- ●組み立て、施工中は、商品にキズがつかないように十分に注意してください。
- ●商品にバリがある場合は取り除いてください。特に切り詰めなど現場加工の場合は必ず行ってください。
- ●組み立て、施工時に、雨水がたまらないように十分注意してください。
- ●雨水等の進入防止のために、必要な箇所には必ずシーリングをしてください。
- ●一部の商品は、雨水がたまらないように、適切な位置に水抜き穴をあけることをおすすめします。
- ●組み立て、施工終了後は、必ず商品が正しく組み立てられているか確認してください。特にボルト、ビスなどにゆるみがないか確認してください。
- ●組み立て、施工終了後は、施工時の汚れをきれいに取り除いてください。
- ●基礎は安全のため必要な強度を十分確保してください。
- ●凍上する可能性のある寒冷地で施工を行う場合は、必ず凍上線の下まで基礎部を確保する施工を行ってください。
- ●取扱説明書に表示している基礎部の埋め込み深さは一般的な場合です。現場の地盤状態に合った基礎部の寸法（基礎体積）にて施工し、安全を確保してください。
- ●組み立て、施工時、商品にコンクリート（またはモルタル）の抽出液が付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性のため、施工後シミ、ムラなどが発生し、外観不良の原因になります。付着した場合は、速やかに水を含ませた布などでふき取ってください。
- ●コンクリートは製品に記載されている配合率や注意事項に従って使用してください。養生期間（4～7日）は十分に確保し、養生期間中は重量物をのせたり、振動させたり、物を立てかけたりはしないでください。
- ●施工後の残材は他の一般廃棄物と区別し、素材別に分けた上で専門業者に処理を委託してください。

使用上のご注意

警告

- ●商品の近くで火気を使用しないでください。熱の影響により、商品の変形や火災の原因になります。
- ●運動具やお子様の遊具、踏み台、ふとんや洗濯物を干す等、目的以外の使用は絶対にしないでください。
- ●フェンス、スクリーン等は、隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手摺りなどとしては使用しないでください。
- ●局部的に重い物をのせたり、掛けたりしないでください。

ご注意

- ●商品の付近で農薬や殺虫剤などの薬剤を使用する場合は、表面に付着しないようにしてください。表面が変色する恐れがあります。
- ●安全のため、定期的にボルト、ナット、ビスにゆるみがないか確認してご使用ください。
- ●長くお使いいただくためには定期的なメンテナンスをおすすめします。
- ●扉の開閉時は、体や衣服を挟まないように注意してください。
- ●アルミ製品の表面にキズが付いたり、塗装はがれが生じると、商品の腐食や強度低下の原因になりますので、十分に注意して取り扱ってください。
- ●商品の切り口に切断時のバリが残っている場合や、現場加工にともないささくれが発生する場合があります。手などにケガをしないように、取り扱いには十分注意してください。発見した場合は放置せず、施工店に連絡してください。
- ●定期的に接合部のチェックを行い、ボルトやビス等のゆるみがあれば締め直しを行ってください。自分でできない場合は、施工店に依頼し必ず直してください。
- ●商品の一点をハンマーで叩いたり、ハシゴをかけるなどして強い衝撃、加重を与えると破損、倒壊事故の原因になります。絶対にしないでください。